

3Rのススメ。



「ごみのことを学ぶコミュニティ」として活動を開始し、多くの自治体や企業と共創されています。「ごみの学校」の代表の寺井正幸さんにインタビューしました。寺井さんからは、ごみの可能性を信じ社会の仕組みを変えていきたい、ごみを通してワクワクする社会をつくることを目指したいとお話されていました。

2025
秋

京都府3R技術開発等支援補助金「プラスチックごみ資源循環モデル」 京丹後市海洋プラスチック循環モデル検証について

2024年の京都府3R技術開発等支援補助金に採択された事例についてご紹介します。

● 補助金制度の概要 ●

- ・対象事業： プラスチックごみ削減の推進を目的に、他者への波及効果や府民への行動変容等意識向上に繋がることが期待されるモデル事業
- ・補助率： 10分の10
- ・補助金額： 100万円以内

● 事業内の背景 ●

京丹後市内では海岸漂着プラスチックごみが年間約250トン発生していますが、これらのごみは塩分などの問題で焼却が難しく、ほとんどが埋立処理されているなど、埋立地の容量の圧迫にもつながっています。

この現状を解決するためには、海岸漂着プラスチックごみについての効果的な回収・再資源化のスキームの導入と、海岸部の取り組みだけでなく流域全体での意識改革が必要不可欠といえます。



● 事業の概要 ●

“株式会社ごみの学校”が、大谷大学の学生と一緒に、京丹後市内における海岸漂着プラスチックごみ問題に対し、回収から再資源化までの実証実験を通じて地域循環型モデルの構築を目指した取り組みです。

- ・海岸漂着プラスチックごみを効率的に回収するための実験装置を開発
- ・2024年9月から2025年2月にかけて沿岸部に漂着した漁具由来のプラスチックごみを中心に、20kgのごみを回収し組成分析
- ・2025年2月に、回収したプラスチックごみを再生加工を行いペレット化を実施
- ・加工後の再生率は約70%で、試作品の製作や品質評価及びその活用方法を検証
- ・地域住民や関係機関の方々と連携し、持続可能な資源循環モデルの可能性を探索

● 事業実施内容 ●

海岸漂着プラスチックごみの回収・洗浄作業

・大谷大学の研究室が開発した回収装置を活用して、京丹後市沿岸で海岸漂着プラスチックごみの回収作業を実施し、主に漁具由来のプラスチックごみを回収（20kg）しました。その後、付着している異物を取り除き洗浄を行いました。



製品化

・回収したプラスチックを再生加工しペレット化を実施し、試作品の製作および品質評価も行いました。加工されたペレットの一部は地域内の事業者へ提供し、製品化に向けての検討も進めました。



先進地視察および地域連携の強化

・長崎県対馬市を視察し、同地域における海洋ごみの取り組みを調査しました。対馬市では漁業関係者やNPO団体が連携し、回収したプラスチックを再資源化する取り組みが進められており、地域内で循環させる事例を確認でき、大変参考になりました。



京丹後市でのワークショップの開催

・京丹後市内で地域住民や関係者の方々を対象としたワークショップを開催したところ、25人位の方に参加いただき、参加者とともに、回収・再生加工プロセスの共有を行い、再生プラスチックの活用アイデアを検討しました。
・参加者からは、例えば、地域産品のパッケージや防災グッズとしての活用及び教育現場での教材化など、具体的な提案が多数寄せられ、地域密着型の資源循環モデル構築に向けた意識醸成を図ることができました。



一般社団法人京都府産業廃棄物3R支援センター ニュースレター 「3Rのススメ。」



発行：一般社団法人京都府産業廃棄物3R支援センター
住所：京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町7番地
京都経済センター4階 417号室
TEL：075-352-0530 FAX：075-352-0529
E-mail：info@kyoto-3rbiz.org
URL：https://www.kyoto-3rbiz.org

【構成団体】京都商工会議所・京都府中小企業団体中央会・一般社団法人長田野工業センター・公益社団法人京都工業会
公益社団法人京都府産業資源循環協会・特定非営利活動法人KES環境機構・京都府・京都市

